

苫小牧市教育委員会会議録

会議区分	苫小牧市教育委員会 第 9 回 定例委員会
日時	平成22年6月24日 自 14時59分 至 16時09分
場所	苫小牧市役所第2庁舎2階会議室
出席委員	委員長 吉本 俊 憲 委員 鈴木 正 樹 委員 佐藤 郁 子 委員 佐藤 守 委員 山田 眞 久
欠席委員	
会議録署名委員	山田 眞 久 委員
会議録作成職員	総務企画課総務係主事 近江谷 健
事務局職員	学校教育部長 須藤 孝 生 スポーツ生涯学習部長 小野寺 徹 示 学校教育部次長 福田 小夜子 指導室長 岩井 眞 二 総務企画課長 戸村 眞 規 総務企画課総務係主査 三橋 大 輔 総務企画課総務係主事 近江谷 健
会議案件	別紙のとおり
会議の経過概要	別紙のとおり

1	委員会開会の宣言（吉本委員長） …14時59分
2	会議録署名委員の指名（山田教育長）
3	報 告（教 育 長）
	・ 前回の教育委員会からの1ヶ月を振り返って報告したいと思う。5月31日に管内の教育委員会協議会がむろらん広域センタービルで開かれ、吉本委員長と私が出席した。事業等決算報告のほか役員改選があり、吉本委員長が昨年に引き続き会長に、私は理事に選任された。また「今後の研究会の方向について」というアンケート調査の結果が資料として配布された。今年度は登別での開催となっているが、参考までに今年度の資料をお渡ししたのでご覧いただきたい。
	・ 6月に入り、中学校の体育祭、小学校の運動会が盛大に開催されている。例年寒かったり雨が降ったりすることが多かったが、今年は全て順調に実施され、明後日の山なみ分校の体育祭を残すのみとなった。この間、中体連も開かれていた。
	・ 6月14日早朝、見山町のアパートで火災があり、北光小学校の1年生の女子児童を含む3名の子どもが焼死するという痛ましい事故があった。学校では全校集会を開き、状況の説明と哀悼の意を表した。一部の子どもに精神的な体調不良症状が出ており、教育委員会の中でカウンセラー資格のあるスクールソーシャルワーカーが対応しているところである。
	・ 今年は社会教育関係の各種委員の2年毎の改選期になっており、委任状を交付したので、後程小野寺部長より説明をお願いしたい。
	・ 6月3日から11日まで第16回定例市議会があったので報告させていただく。今回、拓勇小学校の分離新設に対する質疑、老朽化の問題や耐震化の対策の方向性についての質疑が多かった。学校適正配置計画との関連もあったので、多くの議員から質

<p>問を受けた。次に多かったのは、給食調理場の民間委託に関わる内容だった。以下、概略を報告する。</p>
<p>・拓勇小学校の分離・新設と学校適正規模の方向性、施設整備に関わることに関しては、児童数はどう推移していくのか、空き教室はどうなっているのか、スクールバスの対応は考えたのか、建築のスケジュールはどうなっているのか、建設費を削減するにはどうしたらいいのか、財源の根拠はどうなっているのか、中学校も増えることになるのではないかという懸念、中央部又は西部との学校統合はどうしていくのか、学校選択性を取り入れる必要はないのか、光洋中学校の体育館が老朽しているが何か対応策はないのかというような質疑があった。特に拓勇小学校の分離問題については、まだ正式に規模や内容を決めていないので公にする段階ではないが、検討中であることを伝えた。</p>
<p>・給食調理場の件では、市民団体からの要望はどうなっているのか、なぜ審議会の答申と食い違っているのか、民間調理場にする根拠、安全性は問題ないのか、地元企業は参加できるのかという質問があった。それと関連して、給食費の未納問題の現状についての質問があり、対応は難しいが取り組んでいる最中である旨説明した。</p>
<p>・また、公務補の人数は学級の数によって決められているがグループ化できないのか、休日出勤の手当てについてはどうなっているのか、指定管理者に関わって、日新温水プールに使われていない器具があるのではないかと、スポーツ施設の一元化をどうするのか、地場産業の育成ということで、教室の机と椅子をどう考えていくのか、教科書採択については学力状況調査の結果から判断して全国シェアの高い教科書を使うべきでないか、学校教職員の組合活動、選挙と政治と金の問題についてどう取り組んだのか、不登校対策についてスクールソーシャルワーカーの成果は上がっているのか、ボランティアを採用して対応できないのかという質問があった。</p>
<p>・その他に、情操教育をどう捉えて進めていくのかということで、苫小牧らしい情操教育という形で目玉を作って進めてはどうか、放課後子どもプランを拡大していくことはできないのか、公園でボール遊びが出来ないという問題に対してどう考えている</p>

<p>のか等、様々な質問が寄せられた。</p>
<p>・文教経済委員会では、学校適正配置計画の方向性としてブロックごとの説明をした。</p>
<p>また、給食調理場のパブリックコメントの結果についての報告、平成13年度のボイラー事故の調査結果についての報告をした。以上、議会報告とさせていただきます。</p>
<p>・7月に入ると小学校の教科書採択業務がいよいよ本格化する。また、「命を守り心を育てる強調月間」として3日には街頭啓発集会在中央公園で開かれる。さらに、多くの学校で宿泊学習が始まるが、先般、浜名湖でのボート転覆事故や美瑛町のウォークラリーでの子どもの行方不明事故が発生しているので、学校には天候や現地確認を十分に行うよう通知したいと考えている。今年は、夏季休業開始直後に全道教職員体育大会の胆振日高大会が苫小牧をメイン会場に開かれ、約1,000名の教職員が各地から集まる予定であり、準備を進めているところである。以上で報告を終わる。</p>
<p>(吉本委員長) 本件に関して質問があればお受けする。</p>
<p>(佐藤守委員) 最近小中学生の事故が多い。宿泊学習における安全対策はマニュアル化されているのか。</p>
<p>(指導室長) どの学校も必ず事前に現地の調査を行い、プログラムの中で危険箇所はないか、万が一の時はどのように対処するかなど、準備をした上で実施することになっている。日程の間で不測の事態が発生した場合にいろいろな体制を取れるようなマニュアルは作成してある。</p>
<p>(教育長) 野外学習の場合は天候に左右される。キャンプ場など、使用する施設と連携しながら、天気の良い日、悪い日のプログラムを両方用意している。浜名湖での転覆事故は判断が悪かったように思う。また、美瑛で生徒がはぐれた件については、ポイントごとに先生が付いており、何事もないような場面で事故が起こっているが、いずれにせよ、どのような場面でも最善の注意を払っている。</p>
<p>(鈴木委員) 美瑛の件では、はぐれた男児が自らグループと離れちがう道へ進んだ</p>

<p>という話を聞く。ポイントごとに先生が付いても途中で何があったかわからないこともあるだろう。危険は付き物だろうが、事前に児童に強く話さないことには、これからも起こり得る話だろう。</p>
<p>(教 育 長) 基本的にグループで行動するときは、ポイントごとにちゃんと全員が揃っているか確認するはずだ。確認せずに時間が経ってからいないとわかって遅い。しかし、美瑛の事故は、グループの呼びかけに応じず男児が自ら誤った道に進んだということが事実ならば、対応は難しいものだ。</p>
<p>(指 導 室 長) 指導の中では、グループを組むときに適当に決めてはいない。心配な児童がいる場合には、リーダーシップがある児童と一緒にしたり、発達障害のある児童など、特定の児童には必ず先生を付けたりするという配慮をしている。修学旅行などでは、子どもたち自ら考えて行動するという場面をつくるので、その安全配慮については慎重に対応しているし、健康上の面でも事前に養護教諭が中心となり個々の持病や、どういうことが心配かなどをアンケート調査し、事細かに対応できるようにして行事に臨む体制を取っている。</p>
<p>(吉本委員長) いろいろな方面から今後ともさらに注意を払って対応が必要だ。現場の方々は再確認をしてほしい。</p>
<p>4 議案審議</p>
<p>議案第1号 教職員の処分について</p>
<p>(人事案件のため、秘密会とする旨議決する)</p>

5 協 議
協議案件なし
6 その他
(1) 苫小牧市立幼稚園園則の一部改正に係る意見公募について
(学校教育部長)
苫小牧市立幼稚園園則の一部改正に係る意見公募について、説明させていただく。はなぞの幼稚園の園則の一部改正にあたって、市民参加条例に従いこれから手続きする予定となっている。園則については後日委員会で議案を提出するが、まず市民周知する内容として報告する。(以降、苫小牧市立幼稚園園則の一部改正資料に基づき説明)
(吉本委員長) 私立幼稚園からの意見も出てくると思う。市立幼稚園は園費が安いよ うだが、今後調整はあるのか。
(学校教育部長) 私立の場合は就学援助制度があるので、そこで調整されている。
(総務係主査) 市立は減免だが、私立には補助金を出している。保育料が高い分補助 金も大きい。
(吉本委員長) 本件について了解してよろしいか。
(一同「異議なし」の声)
(2) 各種委員会・審議会委員について

(スポーツ生涯学習部長)
各種委員会・審議会委員について、教育委員会で承認いただき、先ほど教育長からの辞令交付が終わった。その報告を兼ねて、名簿を配布させていただいた。(以降、各種委員会・審議会委員名簿に基づき説明)
(吉本委員長) 本件は報告ということでよろしいか。
(一同「異議なし」の声)
(3) 教育委員の学校訪問等について
(総務企画課長)
・平成22年度の教育委員の学校訪問・教育施設訪問ということで、7月から4ヶ月間に渡り教育委員会の日程に合わせて行われる。(以降、平成22年度教育委員学校訪問日程調査票(案)に基づき説明)
・以上、7月23日、8月27日、9月24日、10月22日の日程でよろしいか。
また、昨年実施した移動教育委員会を4回の学校訪問うちの1回のあとに、近くのコミセンで設けたいほか、昨年は実施していないが19、20年度に実施した意見交換会についても検討していきたいと考えている。みなさんのご意見をいただきたい。
(一同協議)
(吉本委員長) ひとまず、7月23日は明倫中学校と開成中学校が夏休みに入っているため、15日に変更していただくことにし、その後の日程についても不明確であるため、後日の協議としてよろしいか。
(学校教育部長) 詳細は事務局より後日改めて連絡する。

(一同「異議なし」の声)

7 委員会閉会の宣言（吉本委員長）…16時09分